

長寿会新聞

ふれあい

発行 町会 平群 長寿 会
ふれあい情報部

情報やメディアに関心の薄い高齢者

情報格差が生活格差につながる

昨今の情報化社会の進展によって「情報格差が生活格差を生む」(デジタルデバイド)という言葉がよく耳にするようになりました。一体どういうことなのでしょう。生活格差を生む、といわれれば看過できない気持ちになります。特に、われわれ高齢者には通常の生活からは情報格差が生じがちですが、その実情を理解して生活格差につながるような生活にしたいものです。併せて社会の便利さも享受したいものです。

この「言葉」が出てくる背景には、パソコンやスマホなどの電子機器が発達して簡単に多くの人に普及するようになってきたからです。生活格差は主に個人の経済的なものを指すようですが、必ずしも経済的分野だけでなく、われわれ高齢者には「生活の質」の格差を重視する必要があります。高齢者は必然的に行動範囲が狭まることから有用な生活情報が不足しがちになります。日常生活の情報源には、新聞、テレビ、ラジオ、図書などがありますが、概して受け身の情報ですので、加えてパソコンやスマホからも主体的に生活情報を入力することが理想的です。多くの高齢者にはこれらを使いこなせないために情報格差が生じ、便利な情報さえも不足している

よく耳にすること、インターネットで注文すると、二セ物が送られてくるのではないかと、代金が心配だ、などがありますが、正常なサイトではそのような事象は未だ聞いたことがありません。また衣服類などは実際に手に取って見てみたいというサイズとか色合いが分からないなど聞きませんが、日頃よく利用されている方からは見当違いは少ないと聞きます。実際に販売店に出向くのがベターでしょうが、離れた生活圏にあっては適宜出かけることは難儀です。

また「天気予報」では、平群町の奈良県北部が「午後一時雨」との予報でも何時間後に降るのかを具体的に知りたい時があります。その際も3時間ごとの降水確率や雨量の予報を知ることができるよう、直前の雨雲の動きも知ることが可能ですので、洗濯物など仕事の段取りがしやすくなります。

その他、実生活に役立つ有用な情報の入手方法は数多くありますが、紙面の都合で紹介は別の機会にさせていただきます。

したがって、われわれ高齢者といえども有益な生活情報や世の動きに上手に付き合っていくことが求められています。そのためには何時も「変化の主人公たれ」と言われてきたように、高齢者はとくく新しい物事を敬遠しがちですが、社会の変化の流れや便利さを見極める眼と習得する努力を怠ることなく、情報格差から生活格差が生じないように常に社会の主人公でありたいものです。(扇田)

篠原紀氏 瑞宝中綬章

衛生工学の教育と研究で

瑞宝長寿会会員の篠原 紀氏は、過日の秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章されました。

篠原氏は、昭和12年2月に宮崎県で生まれ、昭和34年3月に宮崎大学を卒業後、浄水処理の研究に携われ、その研究の成果から九州大学から工学博士を授与されました。昭和50年4月に近畿大学教授に就任され、理工学部長、大学院工学研究科長などを歴任、平成17年4月近畿大学名誉教授に就任されています。

大学においては衛生工学の教育・研究に努められ特に水処理工学分野で貢献されました。また平群町では都市計画審議会会長、教育委員会委員長としてご尽力されました。

お知らせ

健康ウォーク

第63回 2月16日 (火)

プリズム 9:30 御櫛・石床神社方面

第64回 3月15日 (火)

プリズム 9:30 椿井方面

「知っ得・平群」

古里へぐりのロマンを探る

平群町ボランティアガイドの会

中川 隆晴

本号から数回にわたり「知っ得・平群」と題して、平群町の歴史やお祭り・風習などを紹介しています。

①「楽人領」

第一回は「楽人領」です。

徳川幕府は1665年(寛文5年)に朱

印状を出し、宮中・奈良興福寺・大坂四天王寺の楽人(雅楽の伝承者たち)を経営的に支える目的で領地を与えます。この領地が「楽人領」と呼ばれており、楽人数は50家・80人です。

江戸時代の大和の総石高は51万石、うち平群地域の石高は凡そ6千石ですが、この領地が幕府領・郡山藩のような大名領・興福寺などの寺社領等に比べて統治されていません。その中でも楽人領は全国でも唯一楽人に給付された領地で大変珍しい統治の形態だったといえます。領地

は現在の平群町・三郷町・斑鳩町にまたがり200石が与えられました。当時の村名で、平群町の岩井村、安名寺村、中之宮村(以上の3村は明治10年に合併して三里村になる)、椿井村、平等寺村の5村と斑鳩町の神南村、目安村、そして三郷町の総持寺村の合計8村です。当時の法隆寺の石高が200石でしたから結構な石高でした。

平成28年2月度 老人福祉センター「かしのき荘」利用表

日	曜	集会所(2階)	和室	小会議室(2)ロビー	会議室		小会議室(1)		新館・会議室		日	曜
					午前	午後	午前	午後	午前	午後		
1	月	機	原	碁	年金者組合		アートフラワー		社交ダンス	健康体操	1	月
2	火	鳴川・横	原	碁	俳句		三役会		剣道の会	新舞踊	2	火
3	水	初香	台	リラックス体操		短歌			アロハヨーガ		3	水
4	木	カラオケクラブ	碁	ゆーあいサロン			伝承交流部(手品研究)		健康麻雀		4	木
5	金	梨本・御陵	碁		編物		れんげの会		太極拳	ウクレレ	5	金
6	土	ふれあい活動部	碁								6	土
8	月	福貴・若井・越木	碁		小・筆・民謡		本部役員会		健康体操	社交ダンス	8	月
9	火	若葉	碁		詩吟				コーラス	フォークダンス	9	火
10	水	椿台・平等寺	リラックス体操		リフォーム手芸		和歌朗詠		アロハパソコン		10	水
11	木	建國記念の日									11	木
12	金	緑ヶ丘	碁		茶道	絵手紙			理事会		12	金
13	土	ふれあい活動部									13	土
15	月	光ヶ丘・西向	碁		年金者組合				社交ダンス	健康体操	15	月
16	火	R.T.若葉台・竜田川	碁		俳句	折り紙	日立団地		健康麻雀		16	火
17	水	伝承交流部	ヨーガ			川柳	社会福祉協議会		アロハ介護家族の会		17	水
18	木	カラオケクラブ	碁	ゆーあいサロン			伝承交流部(手品研究)		剣道の会		18	木
19	金	春日丘・椿井	碁		編物		布あそび		太極拳	ウクレレ	19	金
20	土	ふれあい活動部									20	土
22	月	吉新・竜田川	N.P.碁		小・筆・民謡		社協		健康体操	社交ダンス	22	月
23	火	月見台・三里	碁	ゆーあいサロン	詩吟		上映会		コーラス	フォークダンス	23	火
24	水	福貴・久安寺	碁		リフォーム手芸		木目込人形		アロハパソコン		24	水
25	木	下垣内・西宮	碁		アートフラワー		和歌朗詠英会話		クラブ代表者会議	新舞踊	25	木
26	金	福貴・碁	碁		茶道				女性部長会議	遺族会	26	金
27	土	ふれあい活動部									27	土
29	月	社会福祉協議会	碁		新聞印刷配布				社協		29	月

※陶芸クラブは2月2日と9日(火) 9:30~(ふれあい交流センター)

平成28年1月15日

甘口辛口

【ほめたつ(ほめ達)】という言葉を聞いたことがありませんか?【ほめる達人】の略で、意味は人・モノ・出来事などの内面にある目に見えない価値に気づき、上手にほめ言葉で表現出来る人だそうなんです。ほめる人のちよつと見方を変えれば短所は長所になるという意味です。【日本ほめる達人協会】理事長西村貴好氏が「ほめ達」検定を始めたのは、「ほめる」おべんちゃら・甘やかかし」という誤解もあり普及には随分苦労されたようですが、6年目の今では

吉田 絹枝さん

「ならびユーティフルシア」賞

11月22日(日) 県郷原文化会館で開催された第6回「あしたのならび」表彰式で、竜田川ネオポリス長寿会の吉田絹枝さん(90歳)は、今回県下で5名の中の一人として、めでたく「ならびユーティフルシア」賞を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

受賞理由として、夫の病氣治療のため72歳で病院を辞めるまで看護師として働いてこれられ、80歳になっても近所の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動をされています。一方、茶道、琴、詩吟では師範の資格を持ち、絵画、手芸、カラオケなど趣味も多く、琴の演奏では今も病院などにボランティアに参加されているとのことでした。

やあ、踊ろー！

平均年齢70歳のアロハクラブ

初香台長寿会 田尻セツ子
そう呼びかけて7名でスタートしたアロハクラブも、5月には32名の大所帯で8年目に入った。

毎週、水曜日の午前中、軽やかなハワイアン音楽に合わせてフラフラ、しかし、踊っている時間とお喋りタイムがほぼ一緒というのを楽しみ、長続きしているのかもしれない。何分、平均年齢70歳というバーバラ(婆婆等)達なので。

優しい曲やちょっぴりセクシーな曲と、レパートリーも20曲をはるかに超え、今は「ボーライライ」月夜の散歩という、リズムカルでとても楽しい曲の練習中、ボランティアでお披露目できる日も近い。

さて、フラは本来、男子のみが踊る(カヒコ)という古典フラが発祥とされ、今のように女性が踊る(アウアナ)の誕生は1820年頃にアメリカ人宣教師によって禁止されたフラを、カラカウア王が50年後に復活させた時からである。それに、クラブ名の「アロハ」

というハワイ語も、不思議なことばである。

フラの場合には「愛」を表しているのだが、一般的には「こんにちは」であり「さようなら」でもある。それ以外にも(用心深く)、(調和)、(真の誠実さ)、(謙遜)、(辛抱)という5つの言葉の頭文字から(ALOHA)が成り立っている事を知ると奥の深い言葉であることが分かる。

フラの歴史やアロハの意味をほんの少しかじって、「さあ、みんなで楽しく踊ろー！」



雪椿 心かげり 演 晴美 椿台

三つの願望

ゴルフと曾孫と柚子の実

御陵苑長寿会 田辺 幸雄
八十歳にリーチがかかる年を迎え、ささやかな願望を考えました。

一つ目は、18年続いているゴルフ会は昨年未だ71回目を迎えて現在も18名のメンバーが年4回楽しくプレーしています。私が上から3番目の年齢ですが、20年の東京オリンピックの開催までみんな元気にプレーできるのを合言葉にしています。

二つ目は、曾孫が見られればと思っています。これだけは縁と授かりなのですが、三つめが大変です。

ふれあい新聞11月号に投稿された春日丘の大村三郎氏の「桃・栗三年」から始まる慣用語に続きがあることを恥ずかしいながらこの歳まで知らなかったです。新聞を読ませていただく三日前に柚子の苗木を庭に植えたところでした。柚子が実るまで20年かかることも知らず、品種改

「なんもん」ギャンブル

捨てるに負ける財産

良で2年早くなつたとはいえず、単純に計算しても後17年ばかり96歳になる計算です。柚子が大馬鹿野郎か、健康で柚子に負けないよう頑張りたいと思っています。

椿台長寿会 向田 啓次郎

皆さんまだ記憶に新しいと思いますが、昨年東京駅開業百周年記念S UICAが発売され、東京駅に人が殺到しました。そのため発売を一時停止し、通信販売に切り替えた事はご存知とおもいます。

その申込者がなんと四百九十九万人もあり、希望者全員に販売することになった。私もその一人でした。

記念切手に続き記念乗車券の購入もすでに終わっています。私が記念乗車券の収集を始めたのは学生の頃で、当時ヒッチハイクが流行していました。北海道へ行くのに切符が手に入り、発売の当日緑の窓口が一番に行つたのに、特急白鳥青森行きの切符が取れませんでした。苦労して、なんとか連絡船に乗って北海道に渡り、広尾線の幸福駅で愛国駅間の切符を手に入れたのが収集の始まりでした。

今ではこの記念乗車券は紙切れ同様ですが、記念乗車券には夫々の思い出があります。その後病みつきになり切符を手に入れるため、新宿駅や千葉駅に発売日に並んだり、つくば万博駅に筑波博のオルゴール入りのキップや、青函トンネル開業、瀬戸大橋開業記念など、足を運びました。

国鉄からJRになったとき、大阪駅に朝早くから西日本旅客(株)一駅ずつの切符を買いに行つたことが思い出として記憶に残っています。今では買集めた切符が数百枚ありますが、切符はすでに紙切れと化していますが、切符の購入代金よりもそのための旅費が数百万円かかっていました。ギャンブルとしか言い様がありません。

ません。切符のため全国四十七都道府県を旅行しましたが、すべてが一人旅で、観光地も回っています。写真、健康で柚子に負けないよう頑張りたいと思っています。

また、最近コインの収集に凝っており、造幣局から千円のカラコイン銀貨のダイレクトメールがあり、額面千円で販売価格が五千円以上もします。これは都道府県別で、それともう一つは五百円のコインがあり、これは額面で銀行などで引き換えを行っており、すでに四十一県は購入済みです。あと六県を余すばかりになっていますが、四県が今年の一月に発売されます。

以上述べましたようにコレクションはギャンブルであつてなにもメリットが無いように思います。中でも一番よく買に行つたのは、言うまでもなく近鉄の切符で、よく並びに行きました。今から思うと青春のページだったかも知れません。

鉄道ファンは多いと聞きますが鉄道記念切符のファンはあまり聞きません。

コインといえば、額面十萬円の天皇陛下在位五十周年に発行された金貨の抽選権を求めて、各銀行を回り抽選権を四十枚ほど集め、その内四枚が当選し金貨を購入しました。その後、換金のため金券ショップへ行って行きましたがどこも買ってくれ

【問題】

□の中に適当な漢字一字を入れて、並び替え正しい言葉(慣用語)にして下さい。

- ①合会長□会連 ②躍社一□会億活
③命寿□康 ④生療□医 ⑤奉友□健

ヒント：一つだけ言葉の頭文字を並べたものがあります。

前回の答え：「せ」以外は全て重ね言葉があります。ささ(笹)、しし(獅子)、すす(蓐)、そそ(楚々)

短歌クラブ(順不同)

錠剤が指から洩れてころころと探し居る間に時計は進む 石川 友子
マタハラを嫌がらせするあなた様誰から生まれ育てられたの 小東 隆子
買え買えと広告写真の三段重眺めるまに見飽きて捨てる 倉田 美代子
おのづから時雨にぬれて散る紅葉音のなきままだに還りゆく 野木 宗信
本音にてわかる人間愛の味付けいらいぬその心の味 花岡 安子
凍りつく信貴山頂に初日の出夫と待ちにしかの日なつかし 芝田 ユク子
初詣で日本最古の厄除け寺松尾山寺の百人段を登る 魚住 潤子
病弱の妻の腕とり老人は片手で菜とりスーパードに 大村 三郎
七十年過ぎし家跡たずねれば戦後も遠くなりたるものと 岡 多美江
ドクダミに押され廃れし吉祥草わが狭庭にも盛衰のあり 前田 通恵

今月の作品 川柳クラブ

川柳クラブは、このたび毎日新聞「やま柳」選者の 西川國治 氏の指導をうけて例を募集しました。
今回のテーマは、いつでも元氣であることを願

い「元氣」
金剛登山三千回と言ふ者 阿部 裕子
下り坂とつとつと走りだす 泉 恭子
元氣かい元氣だよと後岸から 井戸美恵子
色恋を語れば老いも元氣つく 太叔 力
元氣よく夜を翔ける流れ星 大村 三郎
のじり腰老いもヤングも皆元氣 木田 久子
只今の元氣な声が宝物 白木ふさ子
風邪知らず今日も元氣な万歩計 徳原 友子
がやがやと孫が風がやがやと来た 藤井 信夫
元日に元氣な親の声 藤田 利治
元氣だね言われ持病を数え上げ 立本 和子
友と語る元氣な日々を感謝する 宮崎多喜代
おはようの声も笑顔もまん丸い 宮前 敏子
卒春過ぎてくもゆる元氣夢のよう 篠内 照香
ゲームセンター元氣なシニアはまってる 山田 謙造
秘訣などないの毎日歩くだけ

一月のかしの木句会(順不同)

大吉をふんわり結ぶ初詣 野木 宗信
家長となる子の名の大々筆袋 澤波百合子
物陰のやうに人来る冬の町 中川 克己
三ヶ日過ぎて明りの消えし部屋 江崎 俊夫
初仕事シン掃除し有難う 船本 清子
印刷の質に混じる手書きかな 三船 忠志
夫の歩につきゆく方を恵方とす 宮本 洋子
繕ひし障子の穴や桜舞ふ 松家喜志子
老いの道中身様々年新た 岩城かずこ
乳歯並ぶ笑顔で受くるお年玉 乾 フジ子

おきやみ
申し上げます
平成27年12月20日から1月19日の間に左記の会員の方がご逝去されました。
生前を偲び、謹んでご冥福をお祈り致します。

税田 寿次様(91) 竜田川ネオポリス地区
村田 眞佐夫様(88) 初香台地区
早川 芳子様(78) 初香台地区
大西 金三郎様(94) 椿井地区
日渡 常子様(93) 越木塚地区

先月のおくやみの訂正とお詫び
木戸 英敏様(73) 御陵苑地区は
木戸 英敏様(73)の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

長寿会連合会一同